

「保育所における自己評価ガイドライン」の見直しの方向性について

1. 背景・経過

- 「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」の「中間的な論点の整理」（2018年9月26日）において、現時点で考えられる「検討の方向性」の個別的事項として、「保育の振り返りを通じた質の確保・向上」が示された。

＜「中間的な論点の整理」における関連記載（具体的な検討事項）＞

➤ 改定後の保育所保育指針を踏まえた「保育所における自己評価ガイドライン（2009年3月 厚生労働省）」の見直し

- ・評価の意義や「保育の質」に関する観点等の明確化
- ・評価の効果的・効率的な実施方法
- ・評価結果の公表（保護者等のニーズを踏まえた内容・方法）
- ・保育の充実や改善に資する評価結果の活用方法 等

- これを受けて、本検討会に設置した作業チームにおいて、保育所における自己評価の実施状況等（別添参照）に留意しつつ、「保育所における自己評価ガイドライン（2009年3月）」の見直しに向けた実務的な検討・作業を行い、今般、「保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】」（試案）を作成した。

2. 見直しの方向性（案）

＜基本方針＞ 保育所保育指針の改定（2018年4月適用）を踏まえ、様々な保育の現場における保育内容等に関する自己評価の取組が、より保育の改善や組織としての機能強化に実効性あるものとなるよう、記載内容を充実する。

（1）保育所保育指針に基づく自己評価に関する理解の促進

- ・ 保育所保育指針に基づく保育内容等に関する自己評価の基本的な考え方（目的、対象等）を示した上で、指針改定における「評価を踏まえた計画の改善」に係る記載の充実を踏まえ、保育士等の自己評価及び保育所の自己評価、それぞれの基本的な流れと内容を明記。

（2）保育内容等の自己評価に関わる保育所の取組全体の効果的な実施

- ・ 各保育所において行われている、保育士等及び保育所による自己評価とそれに関連する様々な取組全体の充実に資するよう、多様な視点の活用、保育の記録や評価方法の工夫、保育所における取組の進め方等について、記載内容を充実・追加。

（3）保育現場の様々な実情に応じた主体的・継続的な自己評価の取組の推進

- ・ 各保育所が各々の実情に即して評価の取組を組織全体で進めていくことに資するよう、要点の明示や図・具体例の活用など、記載を工夫。
- ・ 様々な保育の現場における本ガイドラインを活用した評価の取組の実施に資するよう、本ガイドラインの概要（要旨、図表等）、自己評価の取組の具体的な手順・方法の事例などを示した、本ガイドラインに関する「ハンドブック（仮称）」を併せて作成。

「保育所における自己評価ガイドライン」の全体構成について

現行版(2009年3月)

1 保育所における自己評価の基本的考え方

2 保育所における自己評価の目的及び定義

- (1) 保育士等の自己評価の目的及び定義
- (2) 保育所の自己評価の目的及び定義
- (3) 自己評価の観点

3 自己評価の展開

- (1) 自己評価の理念モデル
- (2) 自己評価の具体的展開
 - A: 保育士等の個々の実践の振り返りを最大限に生かす方法
 - B: 日誌やビデオ等の記録をもとに多様な視点から振り返る方法
 - C: 既存の評価項目を利用して振り返る方法

4 結果の公表と情報提供

- (1) 結果の公表の意義
- (2) 公表の方法

別添 自己評価の観点

改訂版(試案)

1 保育内容等の評価の基本的な考え方

- (1) 保育所保育指針に基づく保育内容等の評価
- (2) 保育内容等の評価を行う意義
- (3) 保育内容等の評価の全体像と多様な視点の活用

2 保育士等による保育内容等の自己評価

- (1) 保育士等が行う保育内容等の自己評価の流れ
- (2) 保育における子どもの理解
- (3) 保育の計画と実践の振り返り
- (4) 保育の改善・充実に向けた検討

3 保育所による保育内容等の自己評価

- (1) 保育所が組織として行う保育内容等の自己評価の流れ
- (2) 評価の観点・項目の設定
- (3) 現状・課題の把握と共有
- (4) 保育の改善・充実に向けた検討

4 保育所における保育内容等の自己評価の展開

- (1) 保育の記録とその活用
- (2) 保育所における取組の進め方
- (3) 自己評価の方法とその特徴
- (4) 自己評価に当たって考慮すべき事項

5 保育所における保育内容等の自己評価に関する結果の公表

- (1) 自己評価の結果を公表する意義
- (2) 自己評価の結果の公表方法
- (3) 自己評価の結果の公表に当たって留意すべき事項

別添 保育内容等の自己評価の観点(例)



「保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】」(試案)の概要

【目 的】 保育所保育指針に基づき、保育の質の確保・向上を目的として、保育士等及び保育所が自らの保育内容等(※)について行う評価の取組に資するよう、その基本的な考え方と実施方法等を示す。(※保育の計画・実践及びそれに関連する保育の実施運営の状況)

1. 保育内容等の評価の基本的な考え方

保育所保育指針に基づく、保育内容等に関する自己評価の意義・目的、対象、主体、全体像など、基本的な考え方を記載。

(1) 保育所保育指針に基づく保育内容等の評価 (2) 保育内容等の評価の目的と意義 (3) 保育内容等の評価の全体像と多様な視点の活用

2. 保育士等による保育内容等の自己評価

保育士等が子どもの理解を踏まえ自らの保育の計画と実践について行う評価の基本的な流れと内容を記載。

(1) 保育士等が行う保育内容等の自己評価の流れ
(2) 保育における子どもの理解 (3) 保育の計画と実践の振り返り
(4) 保育の改善・充実に向けた検討

3. 保育所による保育内容等の自己評価

保育所が、全職員の共通理解の下で組織として取り組む自己評価について、基本的な流れと内容を記載。

(1) 保育所が組織として行う保育内容等の自己評価の流れ
(2) 評価の観点・項目の設定 (3) 現状・課題の把握と共有
(4) 保育の改善・充実に向けた検討

4. 保育所における保育内容等の自己評価の展開

各保育所が実情に即して、様々な記録や方法を活用し、保育士等の自己評価とそれを踏まえた保育所の自己評価を全体としてどのように進めていくのか、効果的・効率的な評価実施のために考慮すべきこと等を記載。

(1) 保育の記録とその活用 (2) 保育所における取組の進め方
(3) 自己評価の方法とその特徴 (4) 自己評価に当たって考慮すべき事項

5. 保育所における保育内容等の自己評価に関する結果の公表

保育内容等の自己評価に関する結果の公表について、その意義と方法の具体例、公表に当たっての留意事項を記載。

(1) 自己評価の結果を公表する意義 (2) 自己評価の結果の公表方法
(3) 自己評価の結果の公表に当たって留意すべき事項

別添：保育内容等の自己評価の観点（例）

I 保育の基本的理念と実践に係る観点 II 家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点
III 保育の実施運営・体制全般に係る観点

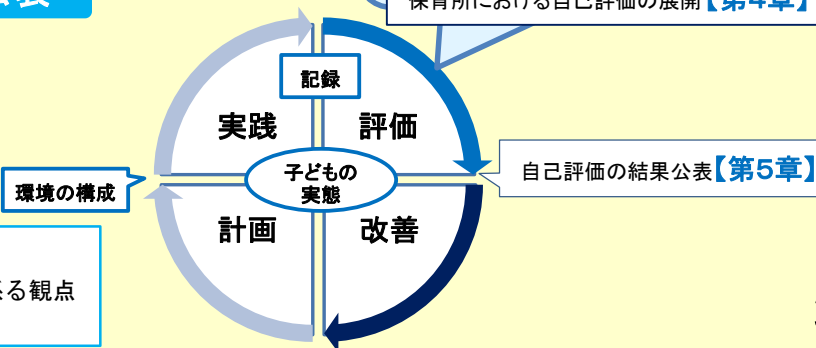
○保育所における日常的な保育の過程に位置づけられる
「保育内容等の評価」

保育内容等の評価の基本的な考え方【第1章】

保育士等(個人)による自己評価【第2章】

保育所(組織)による自己評価【第3章】
※自己評価の観点(例)【別添】

保育所における自己評価の展開【第4章】



「保育所における自己評価ガイドライン」の見直しに係る 今後のスケジュールについて(予定)

2019年6月～12月

● 「保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】」(試案)」の試行検証

- ※ 複数の保育の現場(地域、設立年数、定員規模等の多様性に留意)において、実際に「ガイドライン【改訂版】」(試案)を活用して自己評価の取組を試行的に実践していただき、
- ① 「ガイドライン【改訂版】」(試案)の構成や記載内容を検証し、必要に応じて修正
 - ② 本ガイドラインを活用した自己評価の具体的な実施の手順や方法等に関して、様々な保育の現場における取組の参考となる事例を収集

2020年1月～3月

● 「保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】」の内容確定

● 本ガイドラインに関する「ハンドブック(仮称)」(※)の作成

(※ 様々な保育現場における本ガイドラインを活用した自己評価の取組の実施に資するよう、本ガイドラインの概要(要旨、図表等)や、自己評価の取組の具体的な手順・方法の例(上記②を通じて得られた事例を参考に作成)などを示したものを想定)

⇒ 「ガイドライン【改訂版】」及び「ハンドブック(仮称)」の各自治体・保育所等への周知

2020年4月 目途

● 「保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】」の適用開始

(別添)

保育所における自己評価等に関する実態調査 (調査結果)

(調査概要)

○調査目的:「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」における検討に資するため、保育所における自己評価等に関する取組状況を把握する。

○調査対象:認可保育所等(地域型保育事業を含む)

○調査期間:平成30年10月5日～同年10月26日(回収状況を踏まえ、11月9日まで延長)
(※調査基準日は、平成30年8月1日)

○回収状況:6,000件のうち、2,610件を回収(回収率:43.5%)

* 次頁以降は、「保育所における自己評価ガイドライン」の見直しの検討に資するため、本調査結果のうち自己評価に関する部分を整理したもの。

目 次

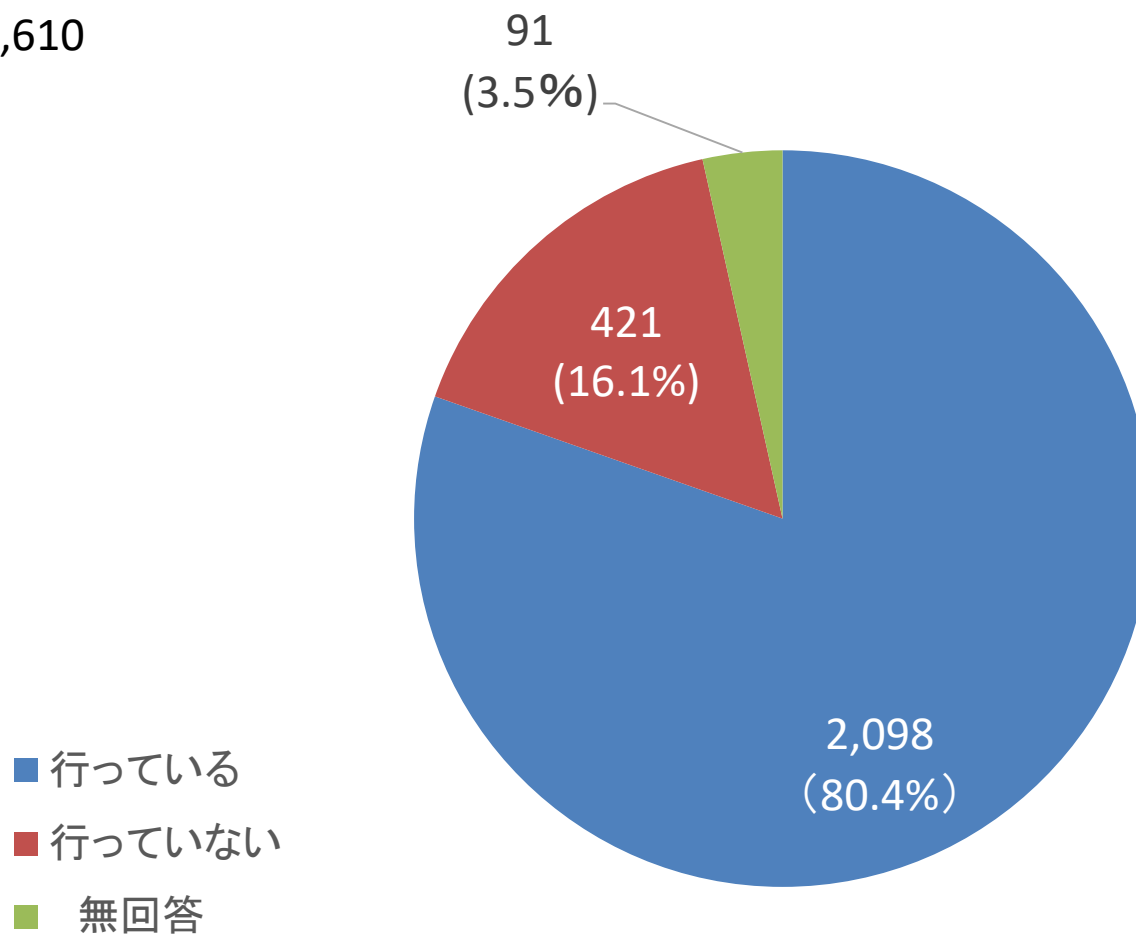
(1) 自己評価の実施状況	4
○ 運営主体別	5
○ 運営主体別（民営）	6
○ 設置年別	7
○ 児童数（定員）別	8
(2) 自己評価の実施目的	9
(3) 自己評価の未実施理由	10
○ 運営主体別	11
(4) 自己評価の実施体制・手順	12
(5) 自己評価の観点	13
(6) 自己評価に活用する資料	14
○ 運営主体別	15
○ 設置年別	16
(7) 自己評価の実施効果	17
(8) 自己評価結果の公表状況	18
○ 設置年別	19
(9) 自己評価結果の公表内容	20
(10) 自己評価結果の公表方法	21

(1) 自己評価の実施状況

- 「園において自己評価を行っている」と回答したのは、2,098か所(80.4%)。
- 「園において自己評価を行っていない」と回答したのは、421か所(16.1%)。

<自己評価の実施状況>

n=2,610

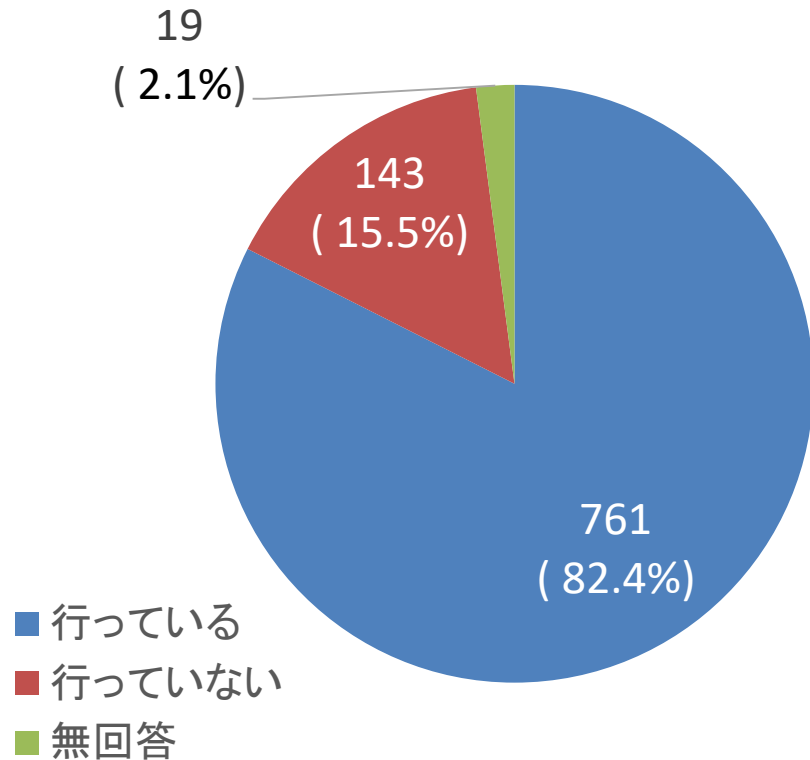


○ 自己評価の実施状況（運営主体別）

- 運営主体が公営の園で、「自己評価を行っている」と回答したのは、761か所（82.4%）。
- 運営主体が民営の園で、「自己評価を行っている」と回答したのは、1,209か所（79.6%）。

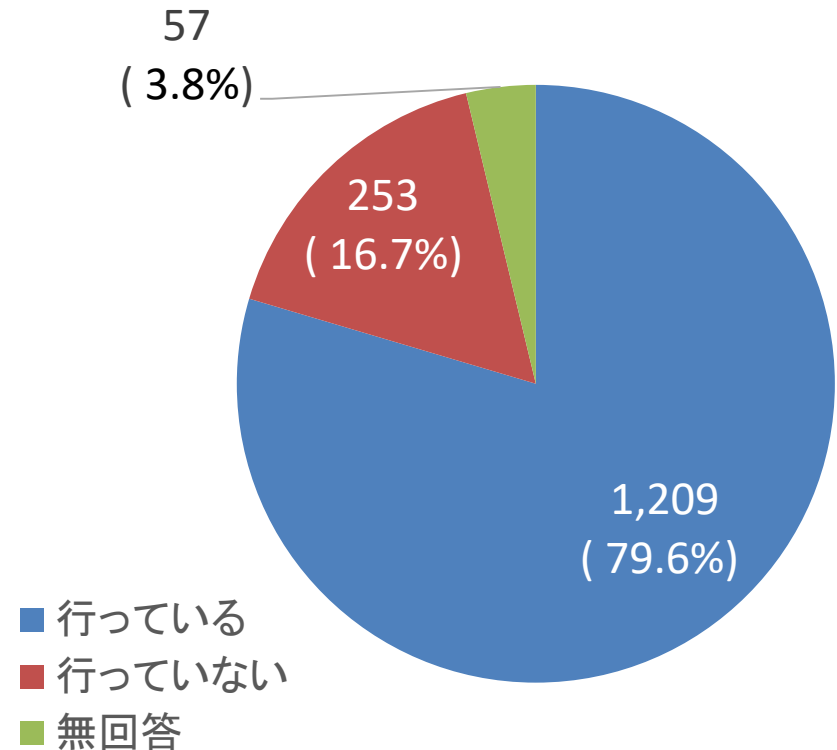
<自己評価の実施状況（公営）>

n=923



<自己評価の実施状況（民営）>

n=1,519

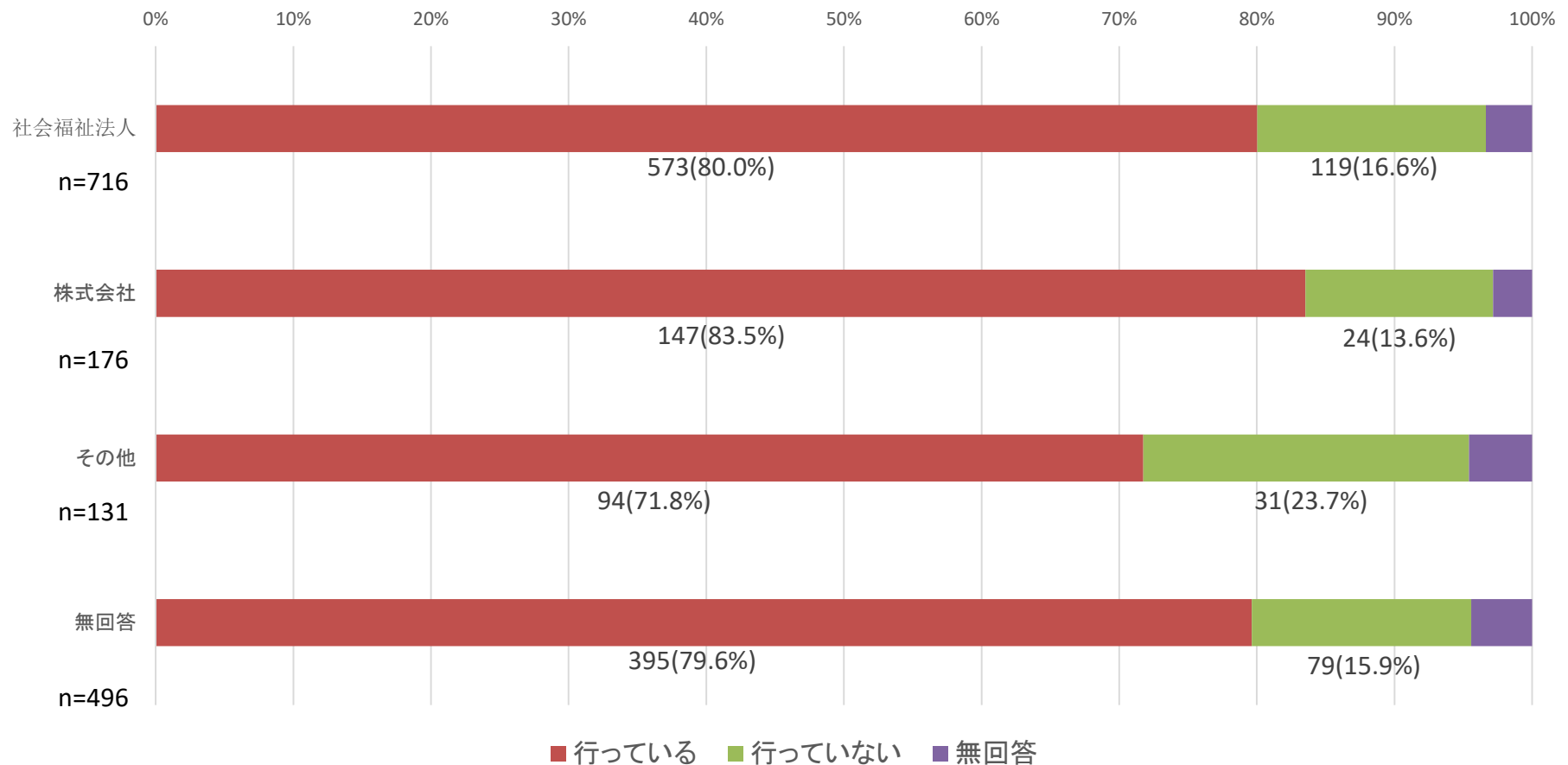


○ 自己評価の実施状況（運営主体別[民営]）

○民営の園における自己評価の実施状況を運営主体別に見ると、「自己評価を行っている」と回答したのは、株式会社の場合147か所（83.5%）、社会福祉法人の場合573か所（80.0%）。

<自己評価の実施状況（運営主体別 [民営]）>

n=1,519

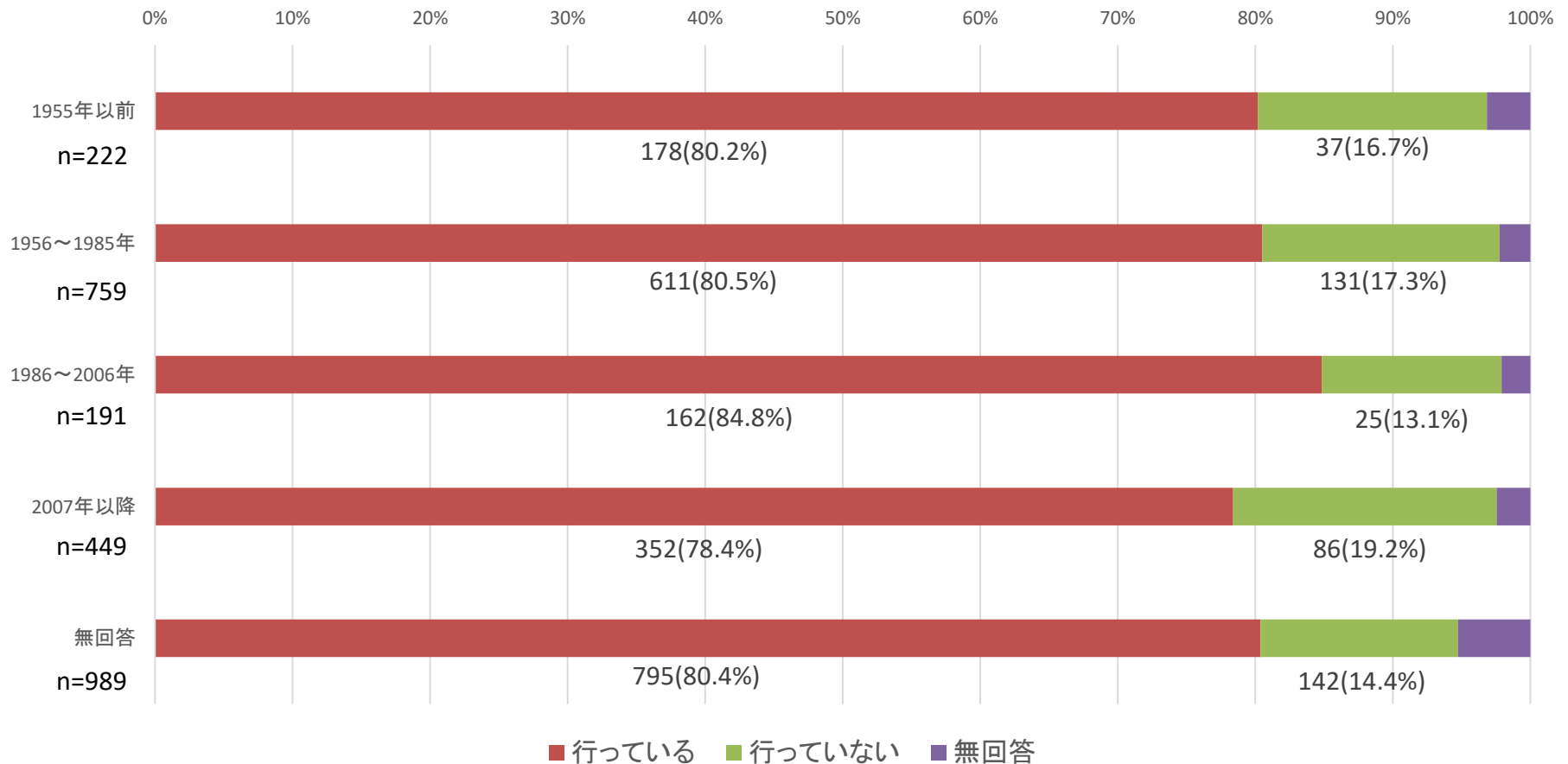


○ 自己評価の実施状況（設置年別）

○ 自己評価の実施状況を設置年別に見ると、「自己評価を行っている」と回答した割合が最も高いのは、1986年～2006年設置の園（84.8%）。

<自己評価の実施状況（設置年別）>

n=2,610

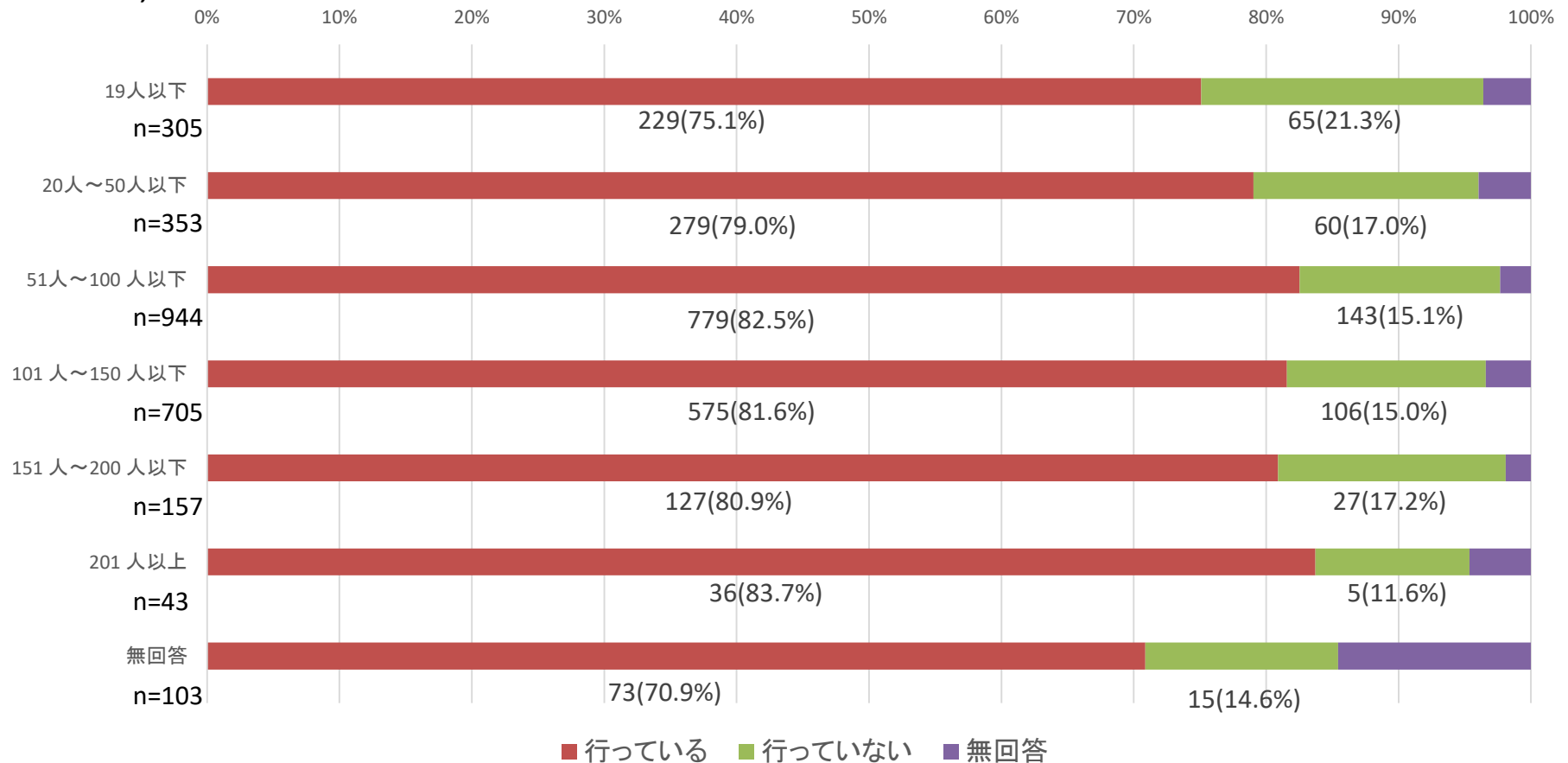


○ 自己評価の実施状況（児童数〔定員〕別）

○ 自己評価の実施状況を児童数（定員）別に見ると、定員数50人以下の園では全体の実施率（80.4%）を下回っているのに対し、定員数51人以上の園では上回っている。

<自己評価の実施状況（児童数〔定員〕別）>

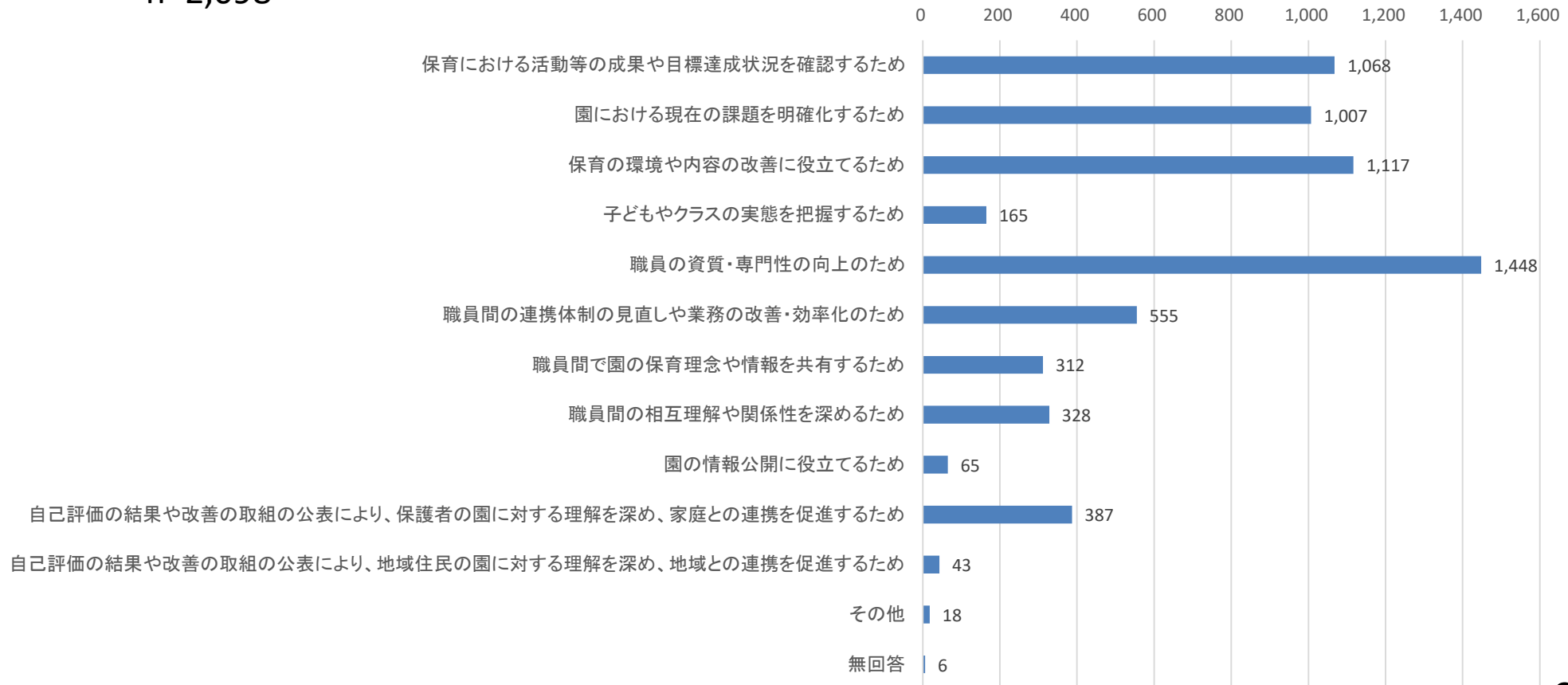
n=2,610



(2) 自己評価の実施目的

○ 自己評価を実施している園における自己評価の主な実施目的は、「職員の資質・専門性向上のため」が1,448件(69.0%)と最も多く、以下「保育の環境や内容の改善に役立てるため」が1,117件(53.2%)、「保育における活動等の成果や目標達成状況を確認するため」が1,068件(50.9%)、「園における現在の課題を明確化するため」が1,007件(48.0%)。

<自己評価の主な実施目的> (複数回答) n=2,098

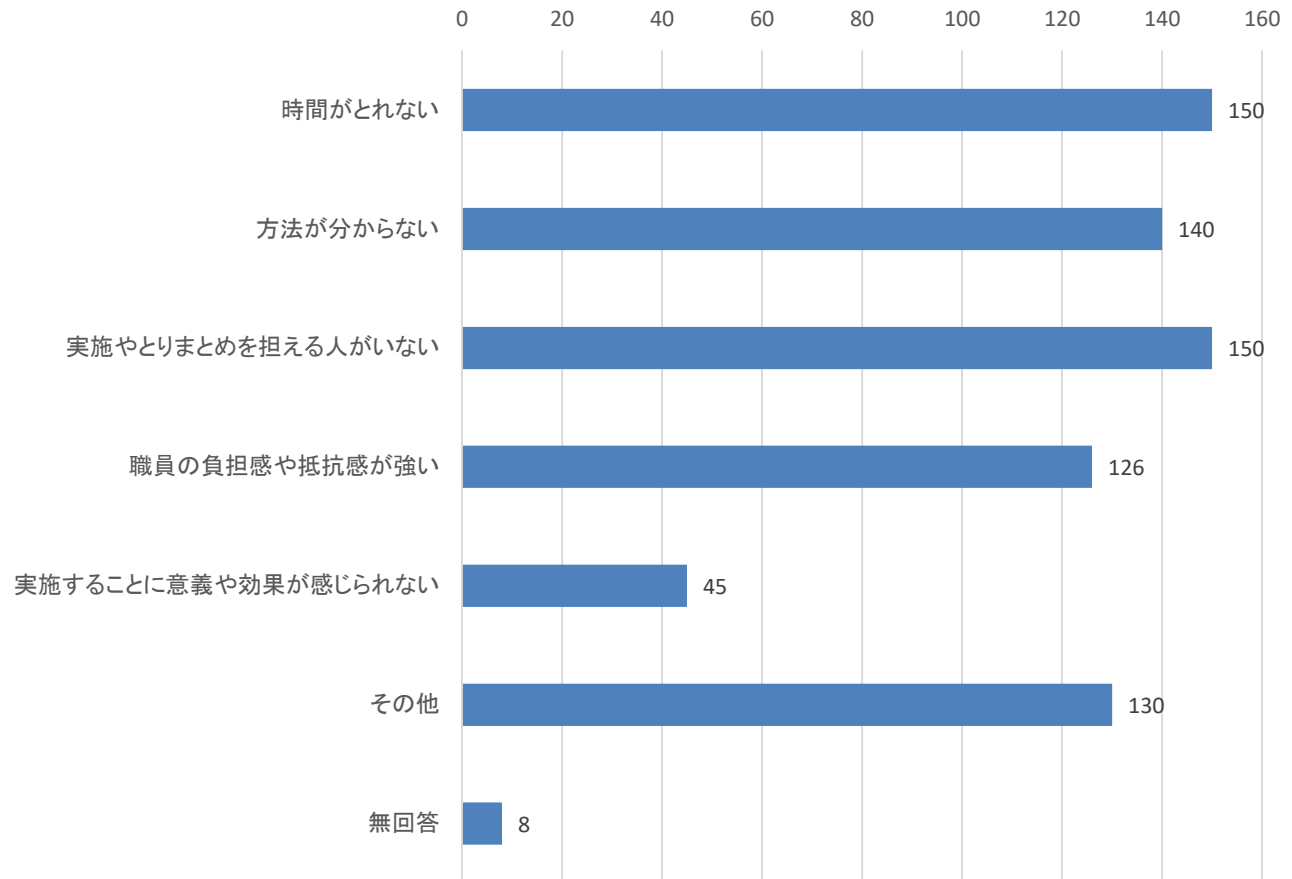


(3) 自己評価の未実施理由

○ 自己評価の未実施理由としては、「時間がとれない」、「実施やとりまとめを担える人がいない」がともに150件(35. 6%)、「方法が分からない」が140件(33. 3%)。

<自己評価の未実施理由> (複数回答)

n=421



※「その他」(自由記述)の記載例

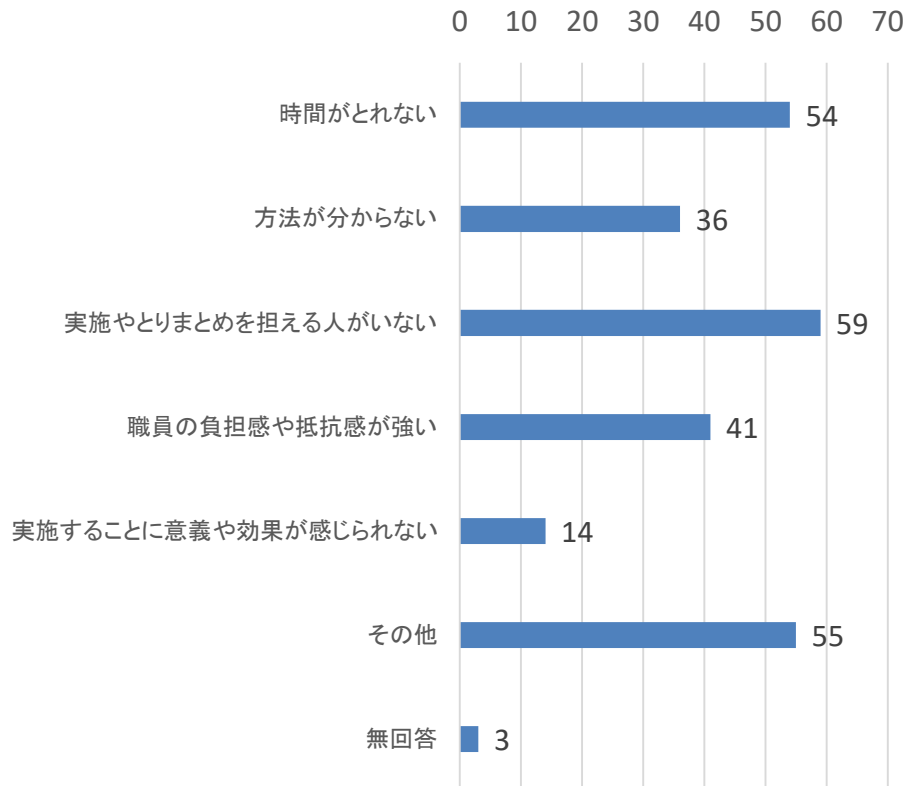
設立からまだ年数が立っていない、実施に向けて現在準備を進めている 等

○ 自己評価の未実施理由（運営主体別）

○ 自己評価の未実施理由を運営主体別に見ると、公営の園は「実施やとりまとめを担える人がいない」、民営の園は「方法が分からない」が最多。

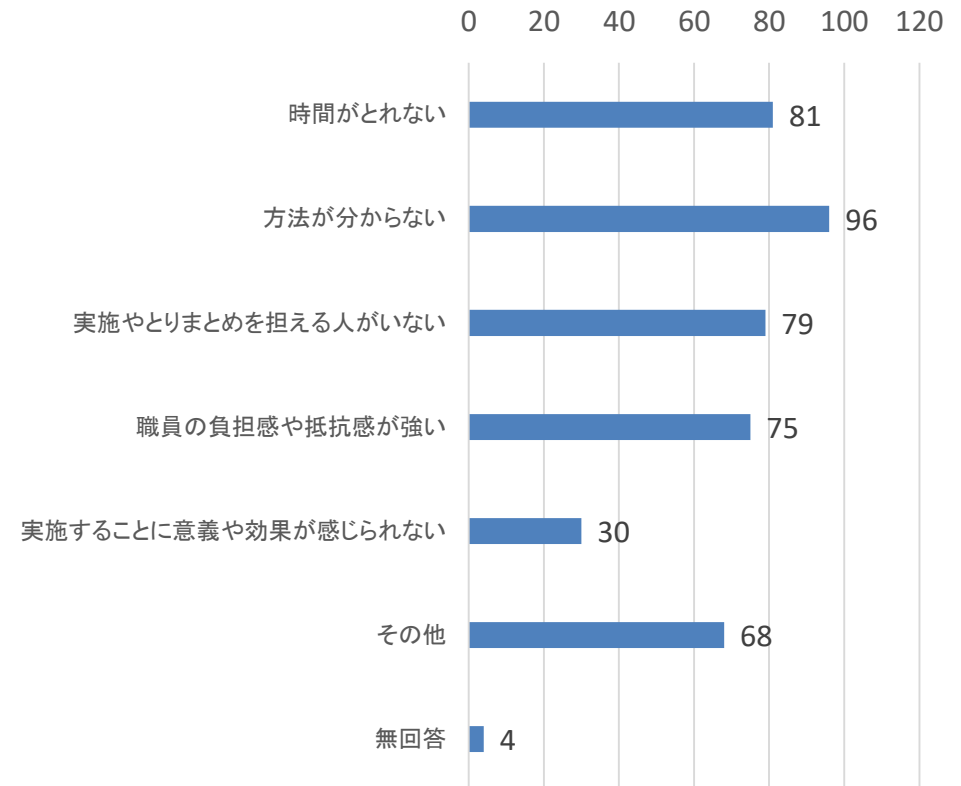
<自己評価の未実施理由（公営）> （複数回答）

n=143



<自己評価の未実施理由（民営）> （複数回答）

n=253

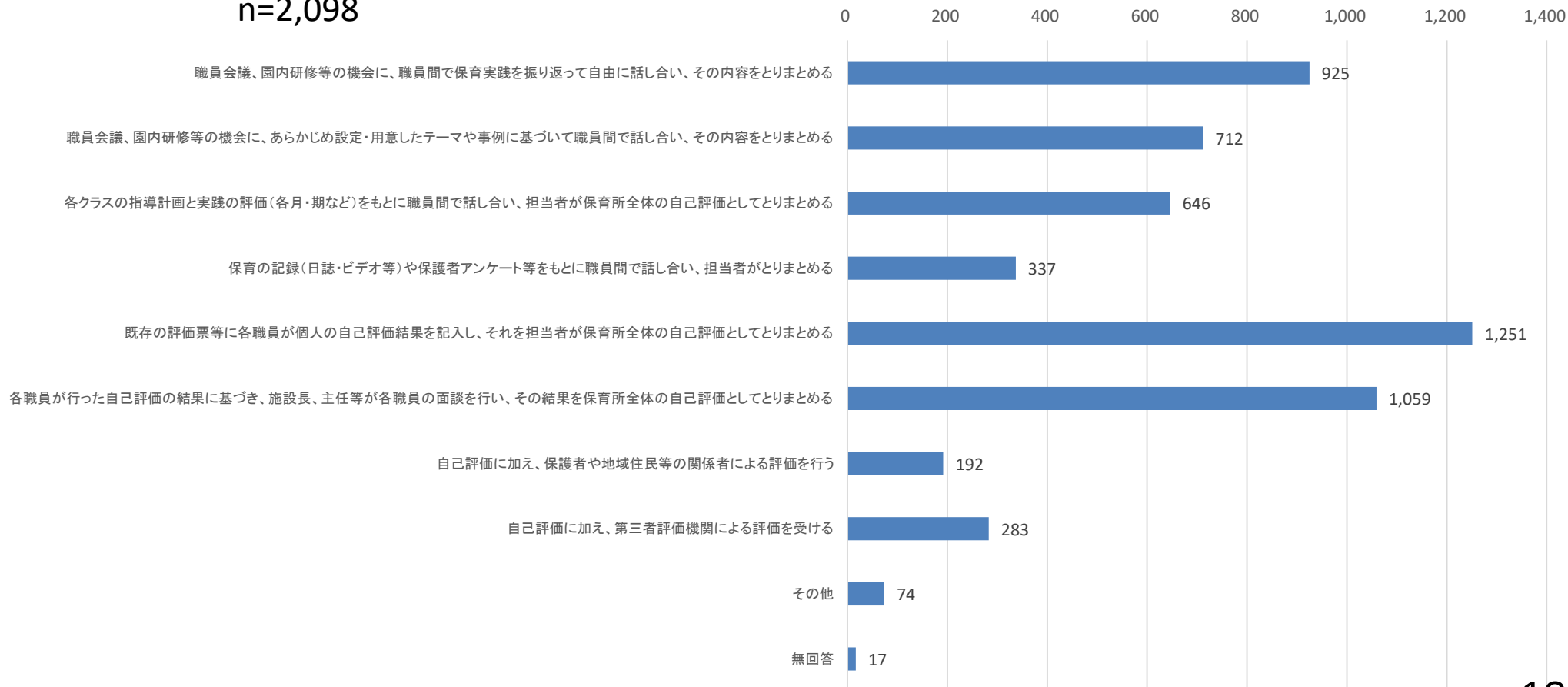


(4) 自己評価の実施体制・手順

- 自己評価を実施している園における自己評価の実施の際の体制・手順は、「既存の評価票等に各職員が個人の自己評価結果を記入したものを担当者が取りまとめる」が1,251件(59.6%)と最も多く、以下、「各職員が行った自己評価の結果に基づき、施設長、主任等が面談を行い、結果を取りまとめる」が1,059件(50.5%)、「職員会議等の機会に職員間で話し合い、内容を取りまとめる」が925件(44.1%)。

<自己評価の実施体制・手順> (複数回答)

n=2,098



(5) 自己評価の観点

○ 自己評価の観点としては、「保育指針・保育目標」が1,600件(76.3%)と最も多く、以下、「安全・衛生管理」が1,563件(74.5%)、「保護者との関係構築」が1,541件(73.5%)、「保育士等の自己評価」が1,514件(72.2%)、「発達過程に応じた保育」が1,504件(71.7%)。

＜自己評価の観点＞（複数回答） n=2,098

分類	観 点	回答数
I	保育指針・保育目標	1,600
IV	安全・衛生管理	1,563
Ⅲ	保護者との関係構築	1,541
IV	保育士等の自己評価	1,514
II	発達過程に応じた保育	1,504
I	子どもの人権の尊重	1,448
II	健康・安全で心地よい生活の保障	1,438
II	子ども主体の関わり	1,365
II	個人差への配慮	1,346
Ⅲ	子育てに関する相談・援助	1,340
IV	保育の計画	1,327
II	保育の人的環境	1,303
II	1・2歳児の保育の内容	1,203
II	子ども観・発達観の職員間での理解と共有	1,193
II	保育の物的環境	1,166
IV	子どもの健康の保持及び増進に関わる取組	1,153
Ⅲ	保護者への個別支援	1,077
II	乳児保育の内容	1,062
II	人との関わりを育む環境	1,057

分類	観 点	回答数
IV	研修	1,053
II	3歳以上児の保育の内容	1,049
Ⅲ	保護者に対する保育内容等の説明	1,043
II	環境の構成及び再構成	984
IV	個人情報の取り扱い	978
IV	苦情解決の取組	832
II	保育における自然や社会事象等とのふれあい	816
IV	保育所の自己評価	816
IV	管理職(園長等)の責務	788
Ⅲ	地域の子育て支援における関係機関との連携	777
Ⅲ	地域の子育て家庭に対する保育所機能の解放	733
IV	法令等の遵守	677
II	生活の連続性	658
IV	家族や保険・医療機関との連携	633
Ⅲ	地域の子育て家庭に対する情報提供	571
II	保育における空間の活用	459
V	年度ごとに園として設定した重点課題	427
V	その他	64
V	無回答	26

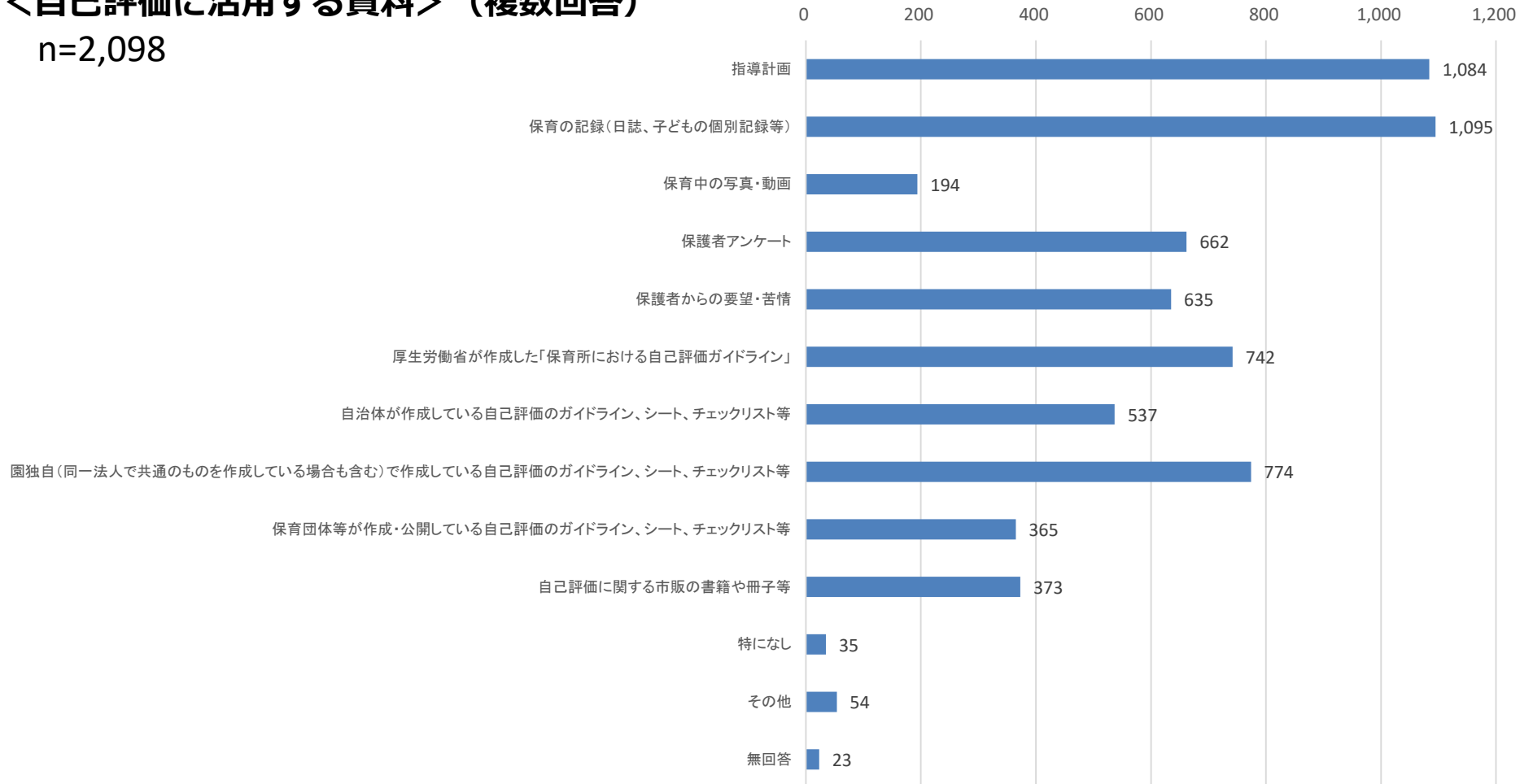
《分類》 I : 保育理念 II : 子どもの発達援助 Ⅲ : 保護者に対する支援 IV : 保育を支える組織的基盤 V : その他

(6) 自己評価に活用する資料

- 自己評価を実施している園において自己評価に活用する資料は、「保育の記録」が1,095件(52.2%)と最も多く、以下、「指導計画」が1,084件(51.7%)、「園独自で作成している自己評価のガイドライン等」が774件(36.9%)。

<自己評価に活用する資料> (複数回答)

n=2,098



- 園独自作成のガイドライン等を活用している割合を公営・民営別に見ると、公営の園よりも民営の園の方が高い。
- さらに、民営の園を運営主体別に見ると、社会福祉法人より株式会社の方が園独自に作成したガイドライン等を活用している割合が高い。

会社形態	割合 (%)	サンプル数 (n)
全体	36.9%	2,098
公営	24.2%	761
民営	44.2%	1,209
不明	43.8%	128

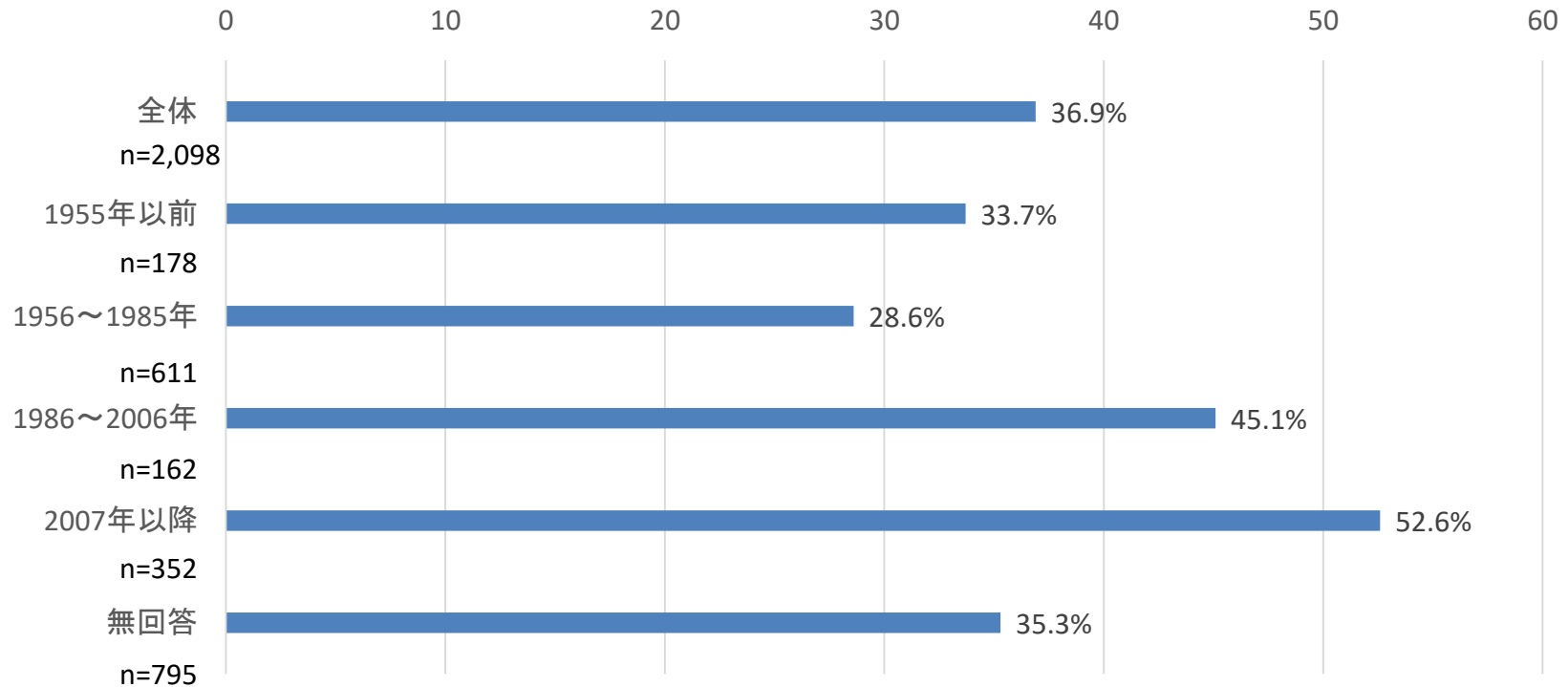


○ 自己評価に活用する資料(設置年別)

○ 園独自作成のガイドライン等を活用している割合を設置年別に見ると、2007年以降に設置された園が最も高い。

<国独自作成のガイドライン等活用(設置年別)>

n=2,098

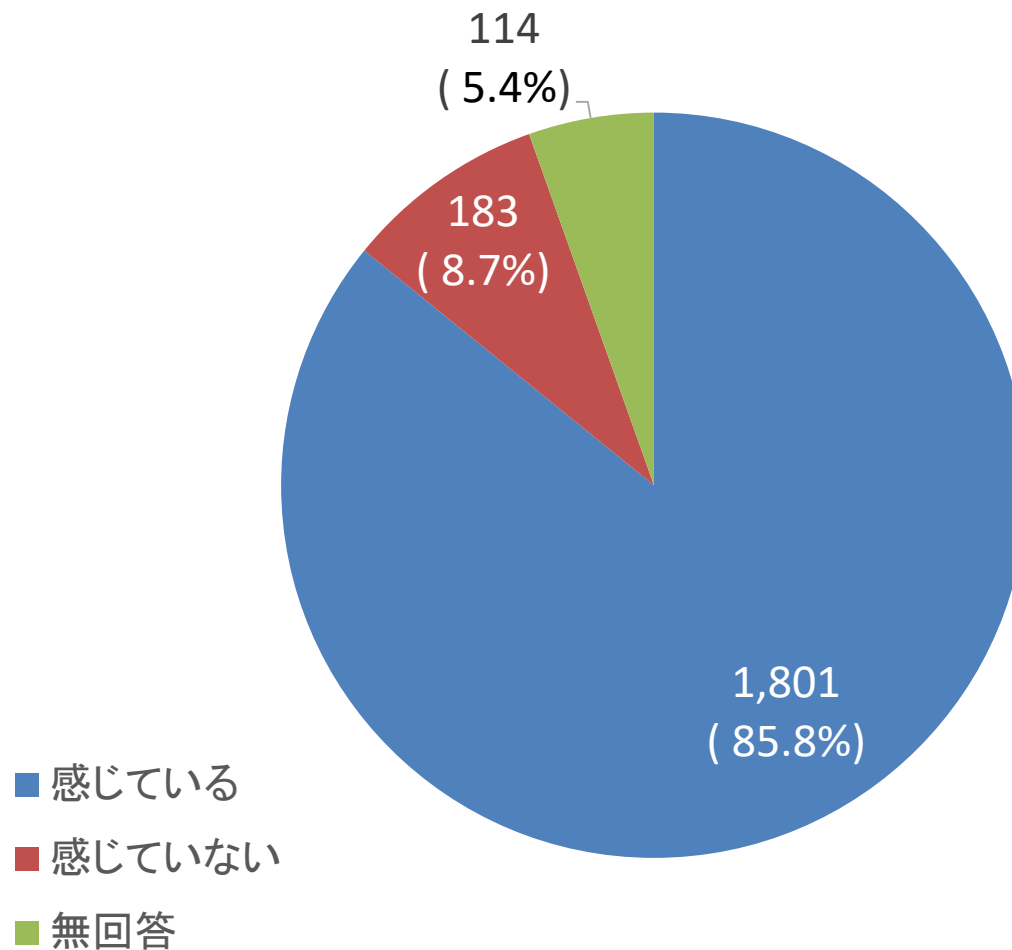


(7) 自己評価の実施効果

- 「自己評価の実施効果を感じている」と回答した園は、1,801か所(85.8%)。
- 「自己評価の実施効果を感じていない」と回答した園は、183か所(8.7%)。

<自己評価の実施効果>

n=2,098

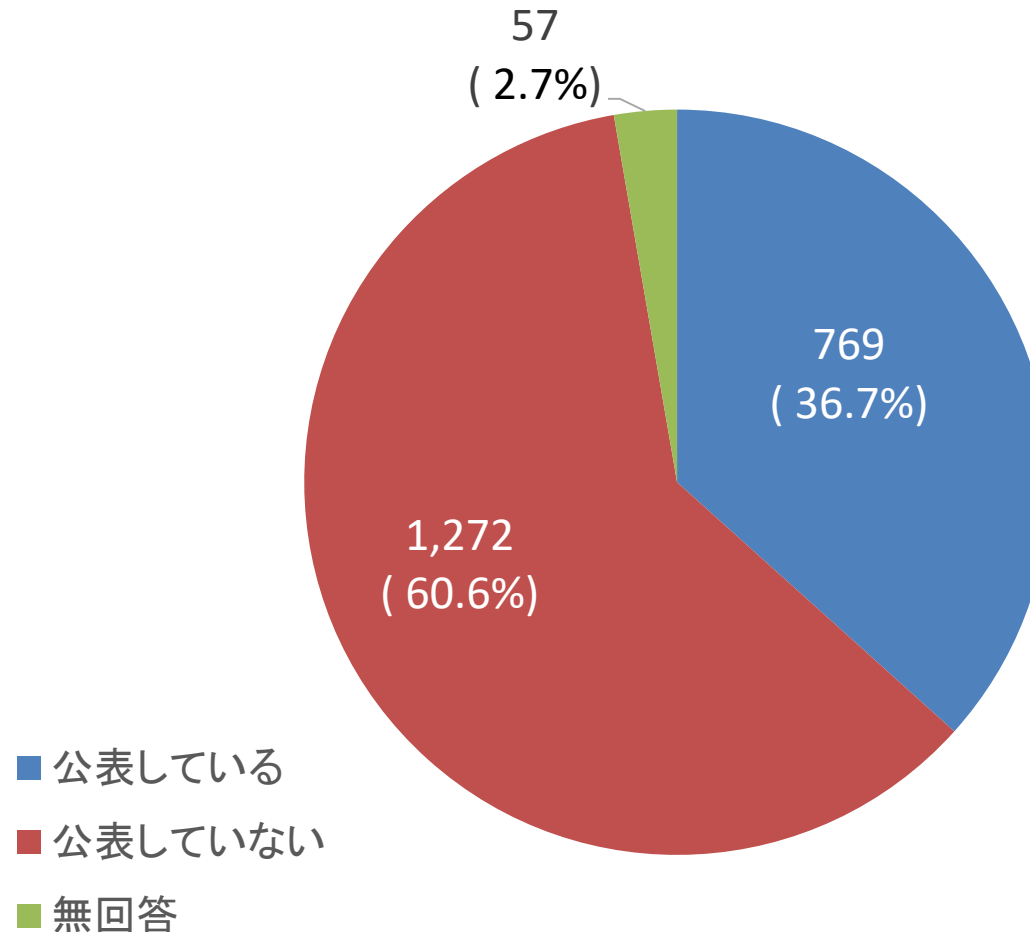


(8) 自己評価結果の公表状況

- 「自己評価の結果を公表している」と回答した園は、769か所(36.7%)。
- 「自己評価の結果を公表していない」と回答した園は、183か所(60.6%)。

<自己評価結果の公表状況>

n=2,098

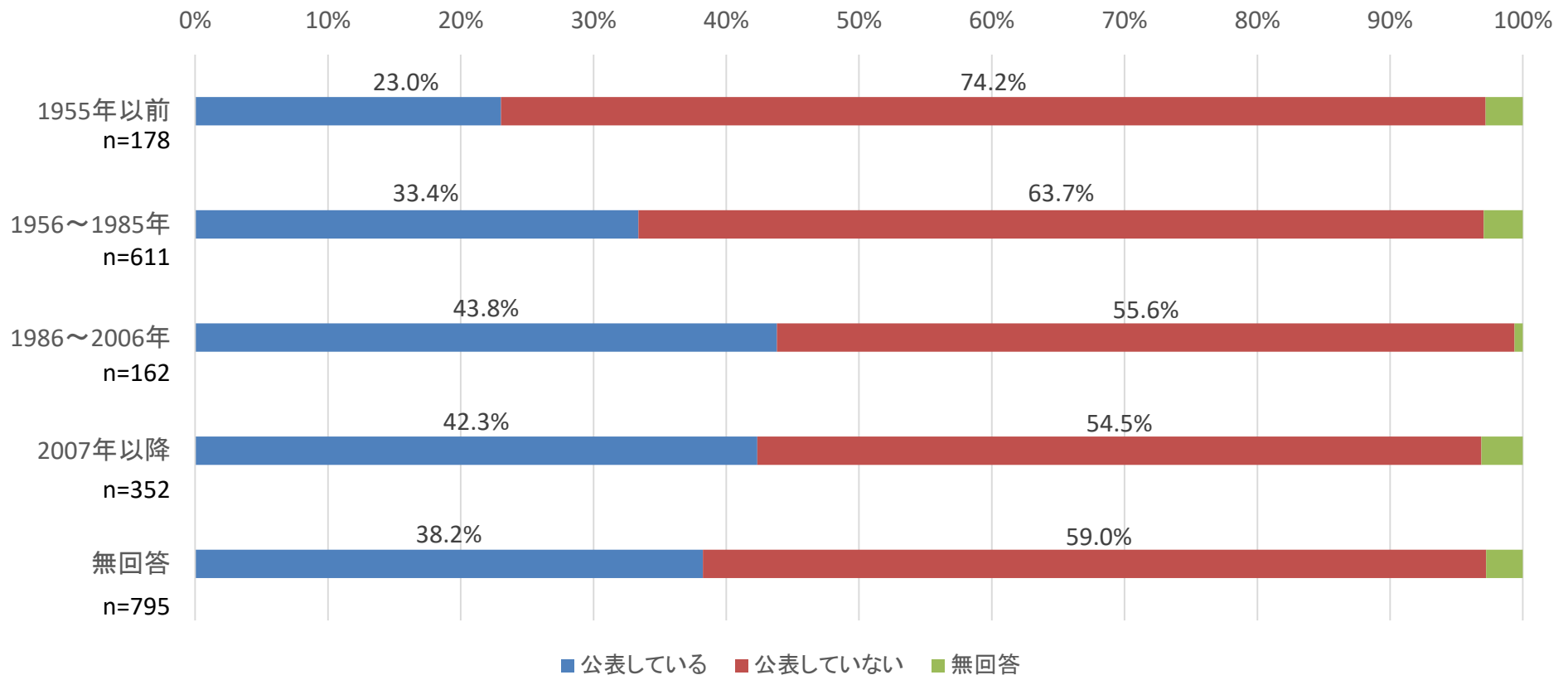


○ 自己評価結果の公表状況（設置年別）

○ 自己評価の結果の公表状況を設置年別に見ると、比較的新しい園（1986年～2006年、2007年以降に設置された園）の方が、自己評価の結果を公表している割合が高い。

<自己評価結果の公表状況（設置年別）>

n=2,098

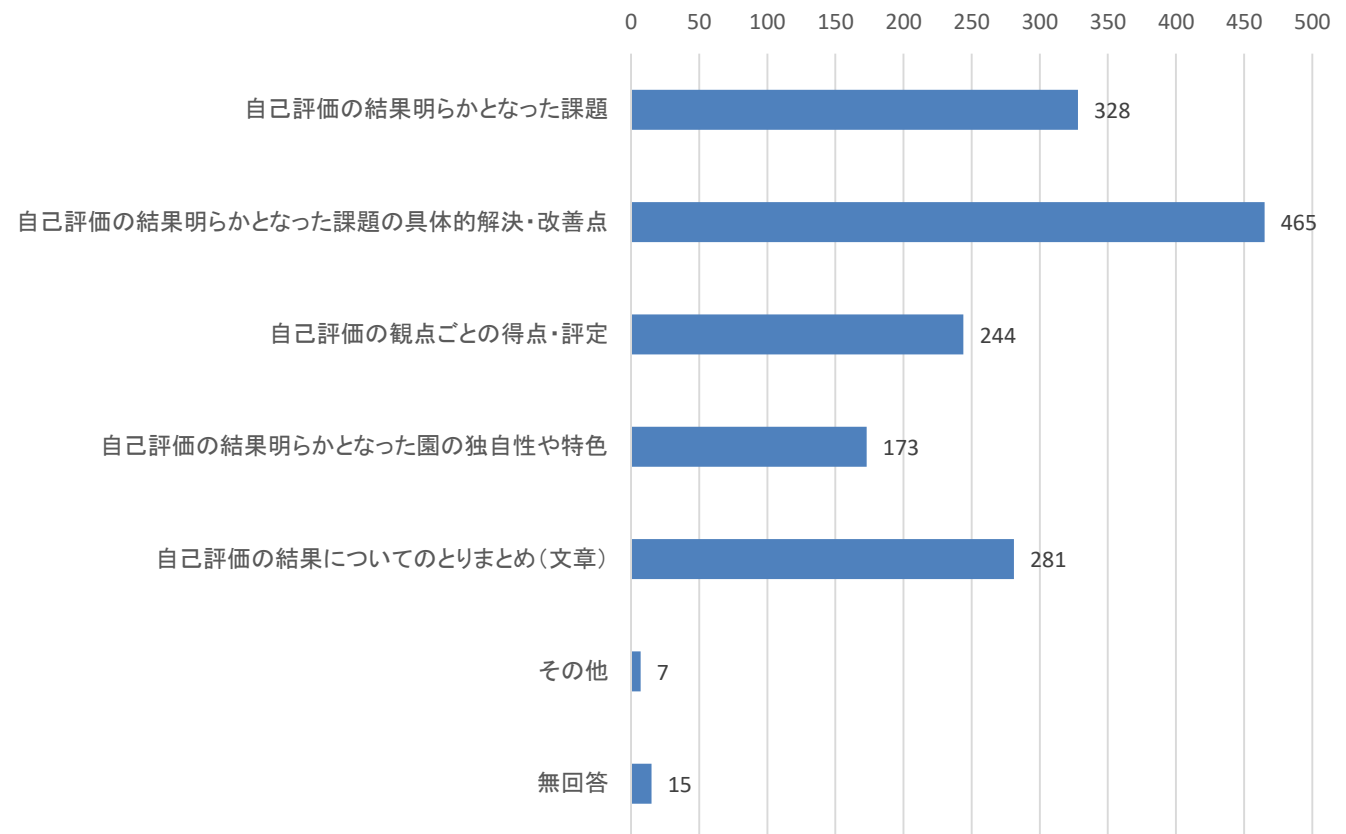


(9) 自己評価結果の公表内容

○ 自己評価の結果に関する公表内容については、「自己評価の結果明らかとなった課題の具体的解決・改善点」が465件(60.5%)と最も高く、以下、「自己評価の結果明らかとなった課題」が328件(42.7%)、「自己評価結果についてのとりまとめ(文章)」が281件(36.5%)。

<自己評価結果の公表内容> (複数回答)

n=769



(10) 自己評価結果の公表方法

- 自己評価結果の公表方法については、「園内の掲示板等に掲示板等に掲示」が346件(45.0%)と最も多く、以下、「園だより等で各家庭に配布」が301件(39.1%)、「保護者会等の場で直接保護者に説明」が220件(28.6%)。

＜自己評価結果の公表方法＞（複数回答）

n=769

